

「市長のいきいきタウントーク」中止にもない寄せられたご意見

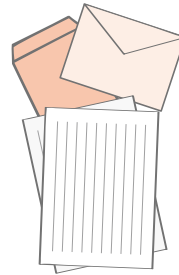
■問い合わせ先 総合政策課 ☎(32)8886

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」の開催は中止となりました。

代わりに、広く市民の皆さまから市政に対するご意見を募集したところ、33件のご意見が寄せられました。いただいたご意見は今後のまちづくりに活かしていきます。

ご協力いただき、ありがとうございました。

このページでは、いただいた主なご意見と、市の回答の一部をご紹介します（一覧は市ホームページに掲載しています）。



ご意見・ご要望の内訳

新型コロナ	1
生活環境	9
防災・防犯	3
教育・文化	7
その他	13
合計	33

ご意見と回答

新型コロナ対策

シトラスリボンプロジェクト

Q 新型コロナウイルス感染者に対する差別や中傷をなくするという取り組み、シトラスリボンプロジェクトを下野市でも広げていただきたい。

A 市は、シトラスリボンプロジェクトの趣旨に賛同し、市ホームページに紹介記事を掲載しています。また、職員はシトラスリボンを着用して業務に就いているほか、市内中学校にもシトラスリボンを配布しました。

今後も、新型コロナウイルス感染症に関わる方々への差別や中傷が行われないよう啓発活動を行っていきます。

生活環境

下野スマートインターチェンジ

Q 下野スマートインターチェンジ（以下スマートIC）は、計画では文教通りに接続されますが、国道4号線との接続計画やスマートIC周辺の開発計画について教えていただきたい。

A スマートICの整備に合わせて、国道4号線に接続している「主要地方道羽生田上蒲生線」（北関東自動車道の側道）の道路を改良する計画です。スマートICへの主要なアクセス道路は市道1-2号線（文教通り）と「主要地方道羽生田上蒲生線」になりますので、市民の皆さまに周知していきます。

また、スマートIC周辺の土地利用は、各種計画において位置づけされていますが、今後、慎重に検討を進めていきます。

自治医大駅前の整備

Q 自治医大駅前に設置されるシェルターの目的を教えてください。

A 自治医大駅の東口から自治医科大学附属病院まで安全に移動できるよう、駅前広場と市道のバリアフリー化を進めています。車いすや杖を使用している方が雨に濡れずに移動できるよう、歩道部に雨除けの屋根（シェルター）を設置する予定です。

水道の節水

Q 生活の中で、水が無駄に流されている場面をよく見かけます。水を大切に使う、節水の指導をしていただきたい。

A 毎年、水道課では、市内の小学4年生の配水場の施設見学や、まちづくりリクエスト講座などで、水の大切さを理解していただけるよう啓発活動を行っています。今後は広報紙や市ホームページを活用し、節水の大切さをさらに啓発していきます。

プラごみ

Q プラごみをリサイクルマーク付きのものに限定しているために燃やすごみの量が増えているのではないのでしょうか。

A プラごみ（プラスチック包装）は、容器包装リサイクル法に基づいて資源化しています。容器包装リサイクル法は、プラスチック製の容器や包装を使う企業が、みずから製造・販売したプラスチック包装の資源化の費用を負担する仕組みとなっており、それ以外のプラスチック製のごみは対象とならない状況です。

廃ペットボトルの削減

Q 公共施設でのペットボトル飲料の自販機を減らしていただきたい。

A 公共施設内のペットボトル飲料の自販機の削減については、今後検討していきます。なお、小山広域保健衛生組合管内では、容器包装リサイクル協会を經由せず、県内事業者での「ボトルto ボトル」（回収したペットボトルをペットボトルに再加工すること）を実施しています。

防災・防犯

水害防止のための側溝清掃

Q 側溝のふたが重くて持ち上げられないため、自分たちでは掘ごらいができません。水害防止のため、年に1回だけでもチェックをお願いしたい。

A 市で管理する道路側溝は全長およそ487kmあり、日頃からパトロールを実施したり、市民の皆さまに情報提供をいただいたりしながら、緊急性があるものから側溝清掃をしています。

台風19号の後に市民から出された改善要望の進捗状況

Q 昨年台風19号の後、市民から出された改善要望（備蓄品の増強、ハザードマップの改定など）の進捗状況を教えてください。

A 備蓄品は、これまでのものに加えて感染症対策の物品や照明器具、簡易テント、簡易ベッドなどの充実にも努めました。ハザードマップは、県の浸水想定区域の見直しに合わせて、令和3年度に改定を行う予定です。